

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(1Fユニット)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全体会議で定期的に理念についての研修を実施している。理念をもとにケアの信念を定めており、毎月ワークシートを実施し信念に沿ったケアができているかの自己評価を行い、自己目標の設定と実践につなげる工夫を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は住民を招待しての季節のイベントを実施したり、小学生や中学生の定例訪問もあったが、感染症の影響により外部との交流が途絶えてしまっている現状である	無量荘は、「認知症になっても、無量荘があれば安心だ」と地域の方からいつもらえる施設となることを目指している。積極的に地域の行事に参加したり、地域とのネットワーク作りを今後行っていきたい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族や地域住民代表者の参加で定期開催しているが、感染症の影響によりほぼ書面開催となってしまっているため、取り組み状況の報告のみとなっているのが現状である	来年度からは原則対面での運営推進会議の開催をし、しっかりと委員の皆様の見解を取り入れる事でサービスの向上を図っていく。また、委員の中に、例えば自治会長や駐在所の警察官、消防のかたなど、色々な方をお招きし、より地域に密着した運営ができるよう会議の在り方を工夫していきたい		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の職員とは加算取得時の疑問点などを相談し、アドバイスを得るなどしている。地域包括とは利用相談などで連携が図れている。	行政とは、日頃から密に連絡を取り協力関係を築いていきたい。管理者は、認知症指導者として積極的に市の認知症施策に関わっていくとともに、地域包括と連携し「伴走型認知症支援事業」へも関わってきたい		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	単に身体拘束は駄目だから、ということではなく、ご入居者の尊厳を守ることが身体拘束の防止につながるという視点で、日頃のケアの実践や話し合いを行っている。玄関はもちろん、不在時の居室の施錠についても、安易な判断はせず十分に検討したうえで判断をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修と法人研修で、年2回の身体拘束についての研修を開催しており、十分な学習の機会を設けられている

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	会議の場などで虐待について話す機会を設けたり、普段から身体拘束とセットで虐待行為にあたる不適切ケアを改善するという視点で話し合いを行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	無量荘は、言葉遣いに謙譲語を用いており、家族としても感心している。不適切ケアについても、例えばオムツいじりの方に対しては安易につなぎや割烹着を使用するのではなく、まずは医療や生活面での工夫を、という視点で支援を行っている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3月から生活保護受給者の方も入居されるので、関係各所と連携を図るとともに、職員へ学習の機会も設ける予定である。法人内のソーシャルワーク事業所とも連携を図っていきたい			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が担当し、1.5～2時間ほどかけ丁寧な説明をさせて頂くとともに、ご家族からの質問には細かく丁寧に回答させて頂いている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族からの意見や要望があれば、都度迅速に誠意をもって対応している。感染症の影響で、一時面会制限など行っていたが、世情に合わせ徐々に解除し、ご家族が来訪しやすいよう工夫をしていきたいと考えている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員に尋ねれば毎回丁寧に必要な説明をして下さっている。ただ何かあった時だけでなく、普段から自然に情報の共有ができる仕組みがあるといいなと感じる。面会の制限も徐々に解除されるといい。メールでのやり取りも対応して下さい家族としてはありがたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月例の職員会議、ユニット会議で意見を聞くようにしているが、管理者は現場に入っている時に直接意見提案を聞く事も多い。日常的な業務の細かい部分は現場に委ねるようしており、外出先やイベント内容、更には業務分担など職員提案によるものが多い。悩みを聞いたり、資格取得への支援にも努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者が職員の状況を把握し、代表者に報告・相談をしている		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者としては、個々の職員に対して定期的な面談の機会や、普段からのコミュニケーションを心がけている。それが今の人員の充足にも繋がっていると感じている

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修は年に6回の法人研修に加え、毎月の内部研修、不定期に外部研修に参加してもらうなど学習の機会を多くもつようにしている。研修で学んだことを実践としてどう活かしていくかの仕組み作りが今後の課題と感じている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の学習の機会が多い環境であり、法人主催の新人研修もある。今後キャリアパス制度を導入してみはどうか。資格手当(介護福祉士)の支給はあるが、資格取得の支援制度が他事業所と比べ十分でないことは課題だと感じる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小規模ネットワークの会議や、法人主催の公開研修等で交流の機会を図っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活する際に本人の役割を持って頂けるよう関りを持ち、残存能力を活用した生活リハビリの実施を通して一方的な関係にならないよう努めている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今まで通っていた理美容室などへは、ご家族に協力して頂きできるだけ継続して通って頂くようにしている。知人や、法人内のデイサービスから友人が訪ねてきて下さる事もある	今後も継続して、理美容室への通いを支援するとともに、法人内のデイサービスや、地域の方との交流の機会を作っていくたい		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のユニット会議では毎回各職員から多くの意見が上がったり、ケアプランを年に2回見直したりとご本人の意向や希望を随時把握し取り入れたケアを考え、実践している			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月例のケア会議では事前に課題を出したうえで、ポイントを絞って行うようにしながら、6カ月毎のモニタリングに同期して行っている。見直しの場合は家族に加え看護師も参加して広く意見を募っている。両ユニットともケアマネジャーは現場に出ており、職員との細かな情報共有で現実に即するように取り組んでいる	現在のケア会議では、参加は職員と看護師のみで開催し、できたケアプランをご家族に提示するようにしているが、今後はケア会議にご家族も参加して頂きその場でご家族の意向を聞き取りケアプランに反映できるよう取り組んでいきたい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意向はその都度伝え、反映してもらっている。今後は是非ケア会議にご家族に参加してもらおうと思う。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のご様子や気づきをケース記録に記入するとともに、申し送りノートを活用に加え、朝礼での確認や、リーダーはなるべく口頭でも伝えるなど全体の情報共有を行う工夫を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	休み明けの職員が前日の様子を確認することなどにケース記録を活用できている。職員間の情報共有の工夫として、ノートや記録の記載だけでなく朝礼にノートを持っていたり口頭でも伝えるなどしている。ご家族の希望があればいつでもケース記録を提示することができる。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の多機能化という視点では、取り組みができていない	認知症グループホームとして、どんな柔軟な支援や多機能化ができるのか、今後地域の方や関係各所と連携し取り組みを考えていく必要がある		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源がある事は理解しているが、協働するところまでは至っていない	まずはどんな地域資源があるのかを、運営推進会議など活用し、把握していく必要がある		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほぼ全ての御入居者をご利用開始前のかかりつけ医を受診している。協力医とも密な連携を図り、集団予防接種や、看取りやそれに近い方の往診や相談などを随時行っている。看護職員を配置して医療連携体制加算を取得している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時に事業所での生活を記した書類を提供したり、退院時はサマリーに加え電話での情報共有を行っている。感染症の影響で現在は退院時カンファレンスはほぼ実施できない状況で、病院からの情報と認識が異なる場合も多く、今後の課題と感じている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	退院時カンファレンスの未実施による、病院と事業所間の共有内容の相違がよくあるのが現状。極力そういったことが無いよう、今後に対応していく必要がある。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	12年前から看取りを始め、今まで何名も看取りを行っている。加算を取得し利用開始時に説明と意向の確認を行い、ほぼ全利用者が無量荘での看取りを希望している。看護職員による研修なども都度行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在も看取りのご入居者がいるが、ご本人のご意向をしっかりと聞き取り、反映する姿勢で支援できている。また、職員もそれをやりがいに感じることができている。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時のや急変時対応マニュアルと、各ご入居者の基本情報をまとめたファイルを非常時リュックサックに常備している。年に一回救急救命訓練を行っている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の通報避難訓練を実施している。以前は地域の方と共同で連絡網を作成していたが、現在は更新されておらず今後の課題となっている。	事業所におけるBCPの作成が必要である。また、地域の方との有事の際の連絡網を更新し、協力体制を築いていきたい	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	今後BCPの作成が重要。無量荘は火災、地震による災害を想定し、自治会や地域住民との連携を図っていく。特に夜間は人手がないため、連絡網の更新や、合同の避難訓練の実施など協力体制を再度見直していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無量荘では、特に言葉遣いに注意したケアを実践している。(謙譲語が基本)職員によっては時折砕けた言葉遣いになってしまうこともあるため、その都度指摘したり、定期的に自身の言葉遣いを振り返る機会を設けている		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	無量荘のケアの重要な方針として、丁寧な言葉遣いを実践している。職員が自身が自分の言葉遣いを含めた接遇・マナーを振り返る仕組みとして、毎月ワークシートを用いて自己評価を実施している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前提としてお一人おひとりのペースで生活できるよう支援しているが、職員の知識不足や焦りから職員のペースになってしまっている場面も時折見受けられる			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の献立は職員が中心になり決めてしまっている現状がある。できる方には、準備・片付けを職員とともにしたり手伝っていただいている		A. 十分にできている B. ③ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者の生活の場として、事前に献立は決めずに毎食冷蔵庫にあるもので食事を作っている。メニューを決めるのが職員中心になってしまっているのが課題だが、準備・片付けを積極的にご入居者に手伝ってもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	メニュー表を参考に、栄養バランスが偏らないよう献立を工夫している。必要に応じ水分量のチェック表をつけるなどの工夫を随時行っている			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日3回の口腔ケアを実践している。必要な方には、定期的な訪問歯科による口腔状態の確認をしている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の口腔ケアは十分に実施できているが、職員の口腔ケアの知識(口腔ケアの役割など)を学ぶ機会が持ていないことが、課題としてあげられる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりの排泄パターンを把握し、自然排尿、排便ができるよう支援している。便秘時に緩下剤を服用されている方が複数名いるので、下剤に頼らない便秘の解消のための実践が課題だと感じている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安易にオムツやパットに頼らないという視点で、排せつ支援を行っている。緩下剤を使用されている方が複数名いるので、今後は運動や水分、排便習慣などの支援の工夫で便秘の予防を行っていくことが課題としてあげられる
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	隔日、夕方～の時間帯に入浴して頂いている。ご希望に応じ、毎日入浴されている方もいる。体位維持が難しい方でも家庭用浴槽で安全に入れるよう工夫している。入浴剤や柚子湯などの季節湯も演出している			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	冷暖房の調節や、最低週一回はシーツ交換と布団干しを行っている。布団が干せない時や、マットレスなどはファブリーズで除菌をしている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬事故防止のため、支援前に必ず職員2名で確認のもと服薬介助を行っている。随時薬の副作用について看護師と連携をとり、必要に応じ看護師が受診時に付き添い主治医と相談支援をおこなっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬事故防止のため、職員2名で提供前に確認するなどしっかりと対策を講じている。例えば抗精神薬を徐々に減らしていくなどの目的で、看護師が定期受診に家族に同行するなどの必要な支援を行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本午前中は余暇活動の時間とし、楽しみごとや気分転換が図れるよう支援している。毎日ご自分でコーヒーを入れたり、居室にある仏壇に線香やお供え物をするをお手伝いしたりと、その方の生活習慣を大切にしている	現在できていることは継続し、より、お一人おひとりが役割と楽しみを持ってグループホームでの生活ができるよう、ケア会議やアセスメントを通して取り組んでいきたい		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お花見や紅葉見学など、計画的に季節の行事で外出する機会を設けている。個別で外出や外食もしているが、感染症の影響で頻度は減ってしまっ	感染症もだいぶ落ち着いてきたため、積極的な外出支援を取り入れていく。ご家族や地域の方と協力し、ご本人の行きたいところにいけるよう支援を行っていき		

		人々と協力しながら出かけられるように支援している		ているため今後の課題と感じている	い		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族同意のもと、希望される方には現金を所持・管理して頂いてる。個別の買い物支援では、ご自身でお会計をして頂くこともある			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話のご希望があれば、いつでもかけられるように対応している。遠方に住むご家族と ZOOM でビデオ通話をしたケースもあった			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内は毎日の清掃により清潔を保っている。共用部分の装飾は派手な物や折り紙で作ったものなどは極力置かず、シンプルで落ち着いた空間を心がけている。各居室にはご本人のお好きな物を配置し、馴染みの空間となるよう支援している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	清掃は行き届いており、来荘時に不快に感じることは無い。家族としては、花を持ってきたいと思うが世話するのは職員だから申し訳ないと遠慮されることもある。職員として全く負担ではなく、ご入居者が喜ぶのであればとてもありがたいということをお伝えした。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人のご希望やご意向に沿って、柔軟に対応できるよう心がけている。ユニット会議やケア会議で、その方らしさが発揮できるケアの実践を都度話し合い実践している			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にはご本人からのヒアリングに加え、ご家族に生活歴や趣味に関する情報シートを記入して頂き、様々な情報をヒントとしてその方のケアをさせて頂いている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面、医療面については、随時看護師と連携をとり早期発見・早期対応を心がけている。安全で、安心できる環境づくりを常に意識し支援を行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故が起こったあとの対応は十分に対応しているが、転倒を未然に防ぐことが難しい。ヒヤリハットを職員に多く出して貰うため取り組みとして、提出数が多かった職員を表彰するなどの取り組みを行っている

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前のご本人のペースを、そのまま施設でも継続できるように、何事も無理強いせず、職員のペースにならないよう心掛け支援を行っている			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、ご家族に「新品ではなく馴染みのものを」とお願いし、持ち込んで頂くようにしている。仏壇を居室に置かれているかたも複数いらっしゃる		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族としても、仏壇など今までの生活習慣を継続できるものを持ち込めてありがたいと感じている。職員は、今後も更に深くアセスメントを実施し、各ご入居者が心地よく生活できるような物を用意したり環境を整える支援をしていく
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけご意向にそった外出支援をこころがけているが、感染症や職員不足により希望通りにいかないことも多かった。	感染症も落ち着いてきたので、積極的に外出支援を行っていきたい		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人が出来ることに手は出さないことをこころがけているが、職員によっては焦りから手を出してしまうこともあるので、課題と感じている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はなるべくご入居者と関わる時間を持ち、傾聴や会話を心掛けている。食事の準備や掃除・洗濯など、日常の場面で出来ることを積極的にやって頂いている		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者が活躍できる居場所作りとして、ご本人の出来ることをして頂く支援を行っている。職員は時間が許す限り、座ってご入居者と会話するよう心掛けている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は地域の方と共同の行事や学生の訪問もあったが、感染症の影響で現在はほぼ交流する機会が無くなっている。時折友人や法人内のデイサービス利用者が訪ねてくることはある	感染症流行以前のように、地域の方との交流の機会やボランティアの受け入れを徐々に再開し、関りが持てるよう支援していきたい		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分に出来ているとは言えないが、ほぼすべてのご入居者が安心して暮らせていると感じている。個別ケアや、地域との繋がりをもっと深めていく必要があると感じている	課題は多いが、職員のケアの質の向上や地域との関わりを積極的にもっていくことで、ご本人が安心し、より良い日々を送って頂けることに繋げていきたい	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症も落ち着いてきたので、来年度は是非夏祭りなど家族や地域が参加できる行事を再開してほしい。地域の夏祭りも来年度は開催する予定なので、無量荘として積極的に参加し、地域の方と親しみより良い日々を送れるよう支援していく